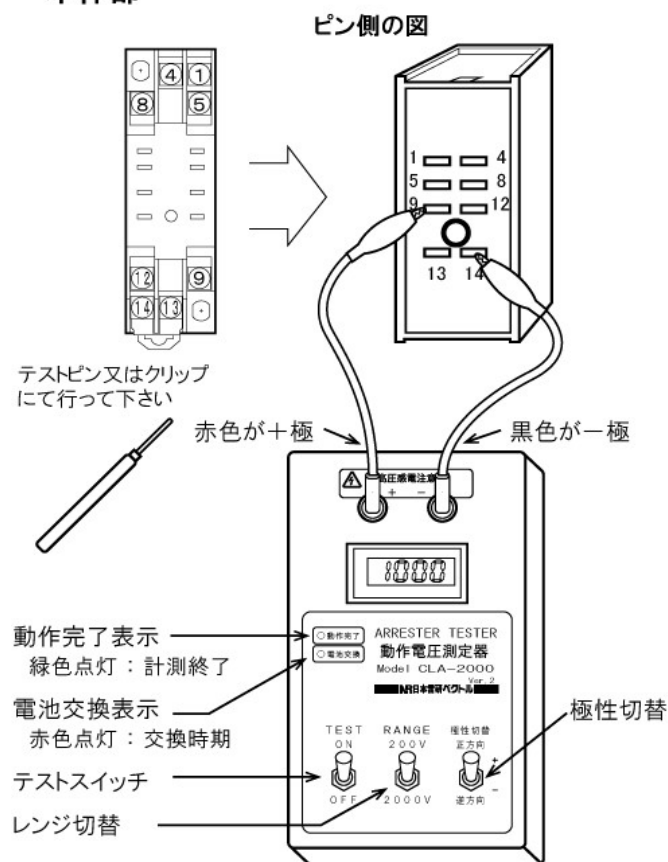


## ●端子配列と結線図

### 本体部



### チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000のは1mA以下の電流制限付きです。  
1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。  
TESTスイッチをOFFにするまで表示します。

### ●点検前のご注意

- ① 安全のため配線されたソケットより外しておこなってください。
- ② 感電にご注意ください。  
TESTスイッチをONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ③ メーターのサンプリング周期により読み取り誤差があります。  
2～3回程度おこなってください。

### ●点検後・・・新品交換待ちになった場合

- ① 劣化と判断した場合であっても電源・信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。  
交換までの雷サージ対策となります。

## ●素子の良否判定

- ① 測定する素子の動作電圧に合わせてRENJE(レンジ)を切り替えてください。
- ② 極性切替スイッチは通常正方向を定位置にしてください。(極性切替時使用します)
- ③ チェッカーCLA-2000のテストピン(またはクリップ)を下表端子番号に合わせて接続してください。
- ④ TESTスイッチをONに投入してください。
- ⑤ 指示値が下表の範囲内は正常、範囲外は劣化(不良)と判定します。

### <2線式信号ライン用避雷器>

各素子	測定端子間	端子番号 +極/ー極	印加電圧 (レンジ)	確認内容 下記の範囲であること	故障モード (通常)
G1	L5/L7	12/14	2000V	DC184 - 564V	OPEN
G2	L7/L6	14/9	2000V	DC184 - 564V	OPEN
ZD	L1/L2	※ 8/5	200V	DC25 - 31V	SHORT

※ 極性切替スイッチで逆方向の確認もおこなってください。